

# 一般質問

(2/5ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は20人39件の一般質問がありました。

(他はその他の質問)

## 府中西高校の外周道路 道路認定への取組は

### 利便性などを検討し 必要性を検証していく

松村 寿志議員 都立府中西高校の校庭は、長期間借地という形態が平成17年まで続いていた。このため、敷地内の赤道等



▲府中西高校の外周道路

の付け替えも行われず、同校の外周道路は一見整備されているが、中身は都の財産が約半分であり、道路として認定もされていない。これにより、多くの土地が無道路地となり、関係者も十分な土地利用を図れない状況である。しかし、ここでようやく地権者からの買収も終わり、赤道の付け替えをする予定と聞いているが、今後の道路認定への取組等を聞きたい。都市整備部長 外周道路の認定については、道路が担う地域の利便性などを検討し、必要性を検証していく。また、隣接区域で予定の区画整理事業との整合性を図り、進捗よく状況を把握する中で、今後、取り組んでいきたい。

他 西府土地区画整理事業の保留地処分の状況及び事業費の基本的な考え方について

## ワンルームマンションの規制 市での考えは 周辺環境に配慮した 方策を検討したい

相原 博議員 近年、本市では、多くのワンルームマンションが計画、建設されている。しかし、多くの市民からワンルームマンション建設の規制を求める声が上がっている。これは、所有者と居住者が異なることが多いため、ごみ

の出し方や駐車等の管理規約を守らず、また、昼夜の区別のない人の出入りによる騒音等をめぐり、周辺住民とトラブルを起こすことにあると思う。その実態はどうか。都市整備部長 ごみの出し方への苦情をはじめ、地域環境

の変化や入居者の生活様式への不安等に対し、紛争に発展している場合がある。議員 地域の特性を生かした住みよいまちづくりを進め、いつまでも住み続けたいまち府中を目指し、ワンルームマンションの規制等を講じる必要があると思うがどうか。市長 市民が安全で安心に暮らすことができるよう、今後、周辺環境に配慮した方策を検討していきたい。

の種となる箇所も少なくない。そこで、空き家等の管理対策の強化をどう考えるか。また、所有者に適正管理を求める法的根拠の整備を含め、庁内で総合的に対応できるシステムを構築する考えは。市長 警察・消防署との連絡調整をさらに密にし、効果的な方法を見出すことが、今後の検討課題と考える。環境安全部長 システムについては、所有者が講ずべき措置等と合わせ、総合的な体制づくりを検討したい。議員 子供の安全確保のため、

## 空き家・空き地の管理 今後の対策は

### 効果的な方法を見出すことが 検討課題となる

村崎 啓二議員 本市では、廃墟化した空き家や空き地が随所で見受けられ、防災や防犯等の面で、近隣住民の不安

## 徴税に関する 市の基本的考えは

### 税の公平性を確保し 市民の信頼を得ること

高野 律雄議員 地方財政は、景気低迷の長期化により悪化の一途をたどってきた。特に市税収入は厳しい状況が続いており、本市においても市税等の滞納が見られる。そこで、徴税に関する市の

基本的な考えを聞きたい。市長 税負担の公平性を確保するとともに、税を確実に徴収し、納税秩序を維持することで、市民の税務行政への信頼を得ることと考えている。議員 滞納を防ぐため、社会の変化に伴う新たな納税方法を導入すべきと思うが、コンビニエンスストアでの納付やクレジットカードによる支払いについてどう考えるか。財務部長 コンビニエンスストアでの収納については、平成21年度を目途に実施を考えている。また、クレジットカードでの支払いは、藤沢市が18年度から全国で初めての事実実験を行っているので、その状況を見守りながら慎重に検討していきたい。

## 安全安心なまちづくりに向け 市民への啓発活動は

### 防犯PR等を通じ 意識の高揚を図りたい

村木 茂議員 平成16年に「市民生活の安全確保に関する条例」が施行された。通学路などにある空き家等への対応が必要と思うがどうか。学校教育部長 児童・生徒へ犯罪等の未然防止教育を行うとともに、保護者等へも意識啓発などを図っていききたい。他 ワンルームマンション建築、ウイークリーマンション建築の規制の強化について

また、市民への啓発活動の考えは。市長 本市では、市民への啓発及び広報として、安全安心メールサービス等の実施や市民の自主的活動支援のため、自治会の防犯パトロールに同行するなどしている。また、市民や事業者との協働として、

地域安全リーダー講習会を府中警察署等と協力し、実施している。環境安全部長 啓発活動については、防犯に無関心な市民がいることも事実なので、防犯PR等を通じて、意識の高揚を図りたい。他 市政世論調査について



▲地域安全パトロール

## 中河原駅放置自転車 その解消策は 店舗専用駐輪場の整備が進められている



▲中河原駅周辺の放置自転車

高野 政男議員 中河原駅前広場は、放置自転車が撤去され、通行しやすくなった反面、鉄道北側の通路やライフ北側の歩道等には、多くの自転車が駐車し、歩行者の通行に支障を来している。このことは、単に駐輪場所を移動しただけにも見えるが、広場の自転車を撤去するに当たり、周辺環境安全部長 駐輪場は、近々利用が可能になるとのことである。また、放置自転車問題は、同駐輪場の整備により、買い物客用の自転車は解消され、通勤者等の自転車は、既存の駐輪場を利用することで減少すると考える。